

令和8年度

第1回臨時評議員会議事録

令和8年度第1回臨時評議員会議事録

1 日時

令和8年4月22日（水） 14時00分～15時00分

2 場所

東京都産業労働局秋葉原庁舎3階第1会議室（東京都千代田区神田佐久間町1-9）

3 評議員の現在数及び定足数

現在数：10名、定足数：6名

4 出席評議員の人数及び氏名

9名 宮入 正英、村越 政雄、會津 健、桑島 俊彦、廣瀬 隆博、森川 雅章、
内村 昌司、阿部 武史、阿部 泰之

5 出席役員の人数及び氏名

- ・ 理事：4名 多羅尾 光睦、福田 哲平、山手 齊、山下 義昭
- ・ 監事：1名 高井（近藤） なつ

6 議長

阿部 泰之評議員

7 議事録作成に係る職務を行った者

多羅尾 光睦理事長

8 議題

【決議事項】 第1号議案 評議員、理事及び監事の選任に関する件

【報告事項】 報告事項1 令和8年度事業計画及び収支予算に関する件

9 議事の経過及びその結果

(1) 開会、定足数の確認

議事に先立ち進行役を務める事務局より、令和8年3月31日付で株式会社商工組合中央金庫の二岡評議員が辞任し、評議員の現在数が10名となっていることを報告した。

続いて、評議員の出席状況を述べ、定款第20条第1項の規定に定める定足数を満たしていることから、本評議員会が成立していることを報告した。

(2) 議長及び議事録署名人の選出

定款第19条の規定に基づき、出席した評議員の互選により選出された阿部 泰之評議員が議長に就いた。

定款第21条第2項の規定に基づく議事録署名人には、出席評議員全員の委任を受けて、議長が村越 政雄評議員及び森川 雅章評議員を指名し、両評議員も承諾した。

(3) 議案の審議状況及び議決結果等

ア 第1号議案 評議員、理事及び監事の選任に関する件

議長は事務局に対し、第1号議案について説明を求め、配布資料に基づき事務局が説明を行った。

二岡 勝評議員、上野（富岡） 麻紀子理事、上田 裕子理事、根本 厚理事、前田 泰伯監事から辞任の申出があり、所属団体からの推薦等の手続きにより、二岡 勝評議員の後任に荒井 哲郎氏、上野（富岡） 麻紀子理事の後任に新田 智哉氏、上田 裕子理事の後任に平澤 哲哉氏、根本 厚理事の後任に池上 智氏、前田 泰伯監事の後任に上野（富岡） 麻紀子氏を選任したい旨の説明があった。

続いて、議長が評議員に対し質問及び意見を求めたところ、質疑等はなかった。そのため、定款第20条第3項の規定に基づき、議長が評議員、理事及び監事それぞれについて候補者ごとに選任決議を行い、いずれの選任も出席評議員全員異議なく、原案のとおり承認された。

イ 報告事項1 令和8年度事業計画及び収支予算に関する件

議長は事務局に対し、報告事項1について説明を求め、配布資料に基づき事務局が説明を行った。

続いて、議長が評議員に対し質問及び意見を求めたところ、質疑等がなかったため終了した。

以上をもって、本評議員会の議事を終了した。

(4) 閉会

議事終了後、議長が評議員に対し、その他質問及び意見を求めたところ、以下のとおり意見があった。その後、議長が閉会を宣言して、令和8年度第1回臨時評議員会を終了した。

<評議員>

令和8年度事業計画及び収支予算の概要を伺い、素晴らしい施策を多く実施しており、中小企業にとっては心強いと感じた。

現在の喫緊の課題はエネルギー問題であると考えている。ホルムズ海峡の閉鎖による影響が、今年度の前半頃には中小企業にも具体的な問題として降りかかってくる可能性がある。

自分が事業承継で事業を引き継いだばかりの頃、第一次オイルショックの中で日本の経済はどうなってしまうのか、目の前が真っ暗になったのを覚えている。ただ、その危機を乗り越えたことにより、日本の技術は非常に進歩した。低燃費な日本車が普及していったことで、世界に誇る自動車産業となった。

自身が自動車産業のサプライチェーンの中にいるので、今後の自動車産業の動向は特に気にしている。小池知事も水素技術に力を入れているが、エネルギー関連の施策について、引き続き重点を置く必要があると考えている。

<議長>

事務局にて、今後の事業運営の中で検討いただきたい。

本評議員会の議決を証明するため、議長及び議事録署名人が記名押印する。

令和8年4月22日

議 長 阿部 泰之 印

議事録署名人 村越 政雄 印

議事録署名人 森川 雅章 印